

2022年2月4日

2022年3月期 第3四半期（10－12月） 決算説明会

株式会社島津製作所

取締役 専務執行役員 山本靖則

1. 決算概要

2. セグメント別業績

3. 通期業績予想

業績サマリー



第3四半期

売上・利益ともに過去最高を更新

- ◆ 売上高・営業利益・経常利益・純利益が、第3四半期の過去最高を更新
- ◆ 売上高が、第3四半期として初めて1,000億円を超えた
- ◆ 特に、計測・産業の売上高・営業利益が、ともに第3四半期過去最高を更新

【計測】

重点機種が好調に推移

- ◆ 重点機種(LC・MS・GC)の売上が10%増加。新薬開発や医薬品自国生産の流れから医薬市場が好調
- ◆ 試験機が日本の教育機関向け補正予算需要を取込み増加。水質モニターが中国で排水測定向けで増加
- ◆ 日本の新型コロナウイルス感染者数は少ない状態で推移し、PCR関連売上は減少

【産業】

ターボ分子ポンプが過去最高
油圧機器も好調

- ◆ ターボ分子ポンプの売上が、前年同期比50%増え、四半期ベースで過去最高売上を更新
- ◆ ターボ分子ポンプは、特に北米の半導体製造装置向けで倍増するなど、グローバルに拡大
- ◆ 油圧機器の売上が、フォークリフト・建設機械等の用途で前年同期比21%増加

海外事業が12.5%拡大

- ◆ 北米、中国、その他のアジアが牽引し、海外事業が拡大。主要全地域で売上増加
- ◆ 計測は国内外でグローバルに増加。特に、欧州、中国、韓国、東南アジアが好調に推移
- ◆ 産業も国内外で成長し、特に、北米、中国、台湾で大幅増加

損益計算書

売上高 : 1,038億円 (前年同期比 : +65億円、+7%)
 営業利益 : 166億円 (前年同期比 : +35億円、+27%)
 営業利益率 : 16.0% (前年同期比 : +2.6pt)

売上高・営業利益・経常利益・
 純利益・営業利益率の全てで
 第3四半期過去最高を更新

単位：億円		第3四半期：10-12月		前年同期比	
		FY2021	FY2020	増減額	増減率
業績	売上高	1,038	973	+65	+7%
	営業利益	166	131	+35	+27%
	営業利益率	16.0%	13.4%	+2.6pt	
	経常利益	173	130	+43	+33%
	親会社株主に帰属する当期純利益	134	97	+37	+38%
為替	平均為替レート：米ドル(円)	113.77	104.57	+9.20	+9%
	ユーロ(円)	130.10	124.57	+5.53	+4%
主要投資	研究開発費	41	37	+4	
	設備投資額	38	46	▲ 8	
	減価償却費	40	39	+1	

為替影響額

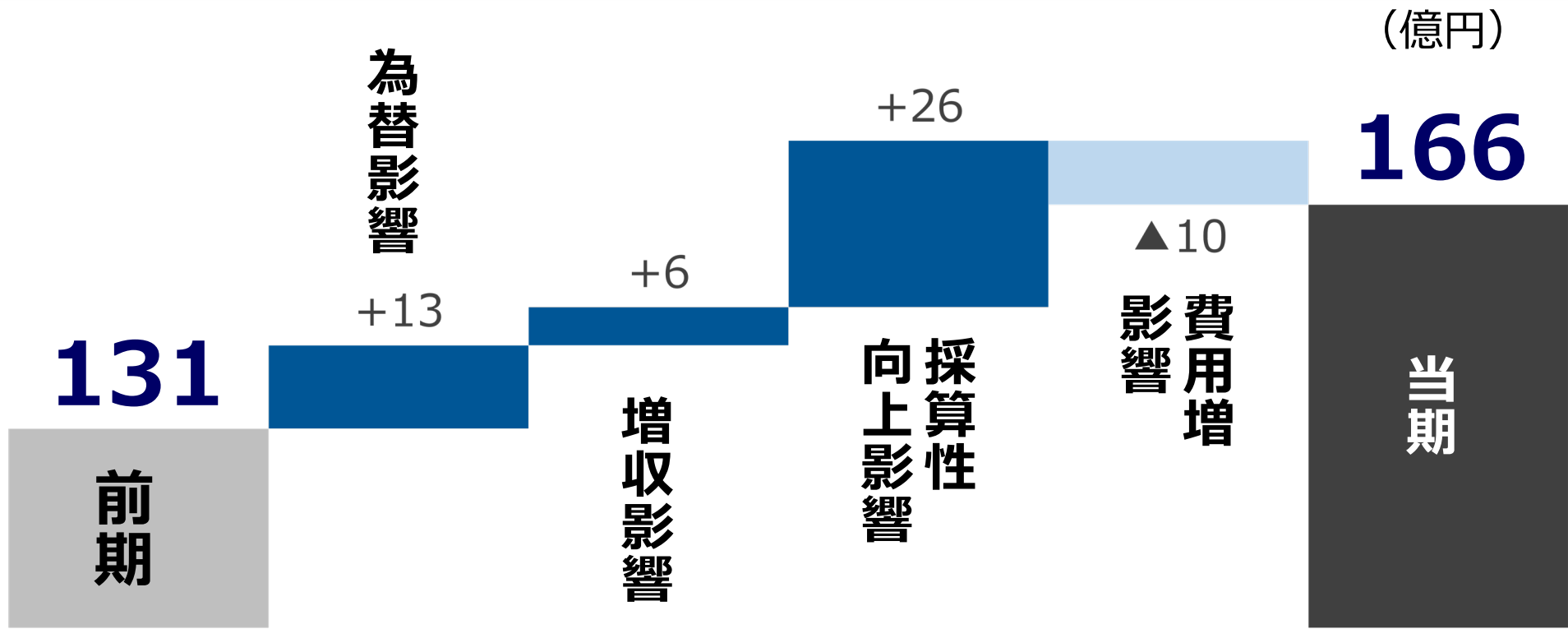
売上高 : 43億円
 営業利益 : 13億円

為替感応度

	売上高	営業利益
米ドル	12億円	4億円
ユーロ	2億円	0.7億円

営業利益増減要因

- 為替影響 : +13億円 (前年同期比で、米ドル、ユーロがともに円安)
- 増収影響 : +6億円 (計測、産業が増収)
- 採算性向上 : +26億円 (プロダクトミックス・セグメントミックスの改善、アフターマーケットの拡大)
- 費用増 : ▲10億円 (人件費・売上関係費は増加したものの、販管費率は前年同期並)



セグメント別損益

「全事業セグメントで増益、営業利益率向上」

- 計測機器：増収増益 ■ 重点機種の増加などにより大幅に増益、営業利益率は2.0pt向上し19.8%
 医用機器：減収増益 ■ 高採算案件やアフターマーケットの拡大により大幅に増益、営業利益率は3.2pt向上し9.7%
 産業機器：増収増益 ■ ターボ分子ポンプと油圧機器が好調に推移し、営業利益率は3.6pt向上し11.8%
 航空機器：減収増益 ■ 減収であったものの、民間航空機向けの採算性改善に加え固定費の圧縮により黒字を確保

単位: 億円	売上高(10-12月)				営業利益(10-12月)				営業利益率		
	FY2021 第3四半期	FY2020 第3四半期	前年同期比		FY2021 第3四半期	FY2020 第3四半期	前年同期比		FY2021 第3四半期	FY2020 第3四半期	前年同期比 増減
			増減額	増減率			増減額	増減率			
計測機器	683	628	+54	+9%	135	112	+23	+21%	19.8%	17.8%	+2.0pt
医用機器	148	157	▲9	▲6%	14	10	+4	+41%	9.7%	6.5%	+3.2pt
産業機器	147	117	+30	+25%	17	10	+8	+79%	11.8%	8.3%	+3.6pt
航空機器	49	60	▲11	▲19%	3	1	+2	+141%	5.4%	1.8%	+3.6pt
その他	12	10	+2	+15%	4	4	+1	+14%	24.7%	26.6%	▲1.9pt
調整額	—				▲7	▲6	▲2	—	—		
合計	1,038	973	+65	+7%	166	131	+35	+27%	16.0%	13.4%	+2.6pt

セグメント毎の業績をより適切に管理するため、当第1四半期から管理部門費をより合理的な配賦方法に変更している。前年比較については前年の数値を新配賦方法に基づき組み替えている。

1. 決算概要

2. セグメント別業績

3. 通期業績予想

計測機器/機種別売上高

重点機種 : 388億円 (前年同期比 +35億円、+10%)
 LCは活発な新薬開発などを背景にグローバルに成長。またMSは医薬・食品安全を中心に海外全地域で増加

その他 : 294億円 (前年同期比 +20億円、+7%)
 試験機は教育機関向けに日本で増加。水質モニターは汚染源監視用に中国で増加。一方、PCR関連は減少

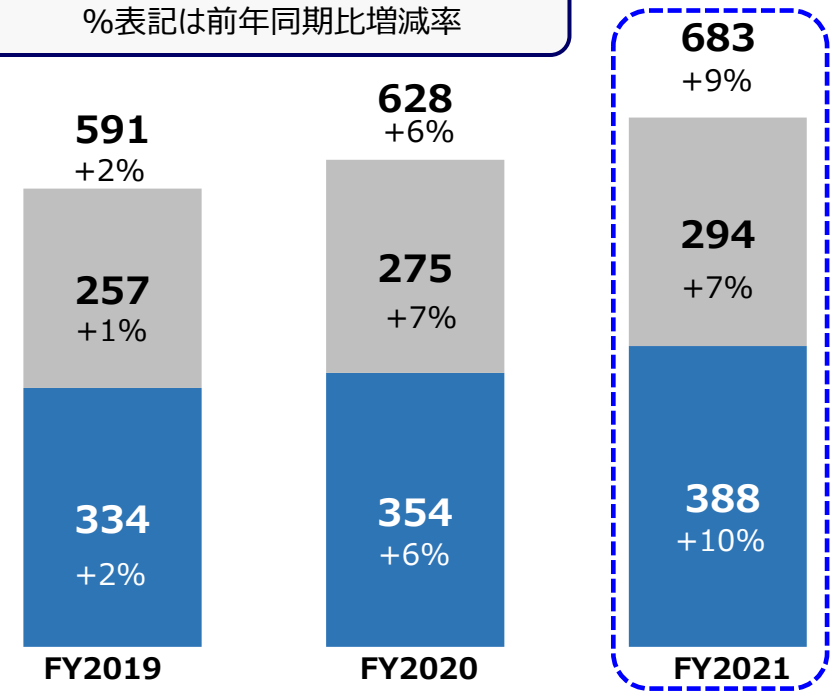
アフターマーケット(AM): 241億円 (前年同期比 +21億円、+9%) / AM比率 : 35% (前年同期比 +0pt)

計測機器 第3四半期売上高

%表記は前年同期比増減率

億円

その他
重点機種



計測機器製品

その他				
	材料試験機 オートグラフAGX-V	水質分析計 TOC-1000e	全自動PCR検査装置 AutoAmp	新型コロナウイルス 変異株 (L452R) 検出試薬キット
重点機種				
	液体クロマトグラフ i-Series	液体クロマトグラフ Nexeraシリーズ	液体クロマトグラフ 質量分析計 LCMS-8060NX	ガスクロマトグラフ GC-2030

計測機器/地域別売上高

日本 : +4% LCは医薬市場等で、試験機は教育機関で増加、一方、新型コロナウイルス検出試薬キットは減少
海外 : +11% 欧州、中国、その他のアジアが業績を牽引。北米は微増
海外売上高比率 : 64% (前年同期比 +2pt)

単位：億円	FY2021	FY2020	増減額	増減率	概況
日本	245	235	+10	+4%	<ul style="list-style-type: none"> LCは、先端医薬分野での研究開発やジェネリック医薬での設備投資増で成長 試験機は、補正予算の取込みが進み、教育機関向けに増加 PCR関連事業は、新型コロナウイルス感染者数が少なかったため減少
海外	437	393	+44	+11%	<ul style="list-style-type: none"> 欧州・中国・その他のアジアが牽引 中国は前年の薬典需要の反動があったものの増収を確保
北米	67	66	+1	+2%	<ul style="list-style-type: none"> 売上は、半導体等の部品不足による生産遅延の影響等により微増。受注は、医薬・臨床・環境等で好調に推移 GCは、大学研究機関向けに温室効果ガスの分析用途で引合が増加傾向
欧州	77	71	+6	+9%	<ul style="list-style-type: none"> 重点機種は、医薬の受託製造の拡大や、食品の残留農薬検査の増加で好調 大学で予算執行が進み、需要が回復 GCは、水素関連のグリーン技術開発投資が拡大し増加傾向
中国	175	161	+14	+9%	<ul style="list-style-type: none"> 前年の薬典需要の反動があったものの、好況な製薬・CROでLCを中心に成長 水質モニターは、工場・下水処理場の汚染源監視用に増加
その他のアジア	89	75	+14	+18%	<ul style="list-style-type: none"> 東南アジア・韓国で、LCは設備投資増により医薬向けに、MSは官庁大学向けに増加

医用機器/機種別売上高

X線装置 : 110億円(前年同期比 ▲5億円、▲4%)
 前年コロナ禍で増加した回診用X線撮影装置は減少、また半導体等部品不足により生産遅延が発生
 一方、X線TVシステムが日本・北米を中心に増加。また血管撮影システムも東南アジアで増加

その他 : 38億円(前年同期比 ▲4億円、▲10%)前年の大口案件の反動で減少

アフターマーケット(AM) : 58億円(前年同期比 +3億円、+6%) / AM比率 : 39% (前年同期比 +5pt)

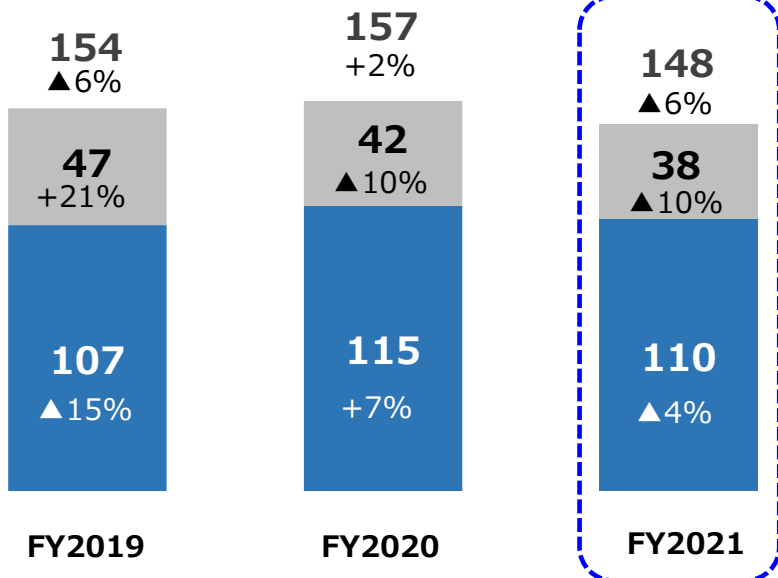
医用機器 第3四半期売上高

%表記は前年同期比増減率

億円

その他

X線装置



医用機器製品

その他				
	放射線治療用動体追跡システム SyncTraX	統合電子カルテ SimCLINIC T3	病院受付システム MERSYS-IV (感染症パッケージ)	TOF-PET装置 BresTome
X線撮影装置				
	X線TVシステム FLEXAVISION F4	一般撮影システム RADspeed Pro	血管撮影システム Trinias unity edition	回診用X線撮影装置 MobileDaRt Evolution

産業機器/機種別売上高

TMP : 72億円 (前年同期比 +24億円、+50%) 全地域で大幅に成長、特に日本、北米で好調
油圧 : 39億円 (前年同期比 +7億円、+21%) フォークリフト・建設機械の市況の回復により、日本・北米・中国が牽引
その他 : 37億円 (前年同期比 ▲1億円、▲3%) 工業炉は増加したものの、前年の真空装置案件の反動等で減少
TMPアフターマーケット(AM):11億円 (前年同期比 +2億円、+19%) /AM比率 : 15% (前年同期比 ▲4pt)

産業機器 第3四半期売上高

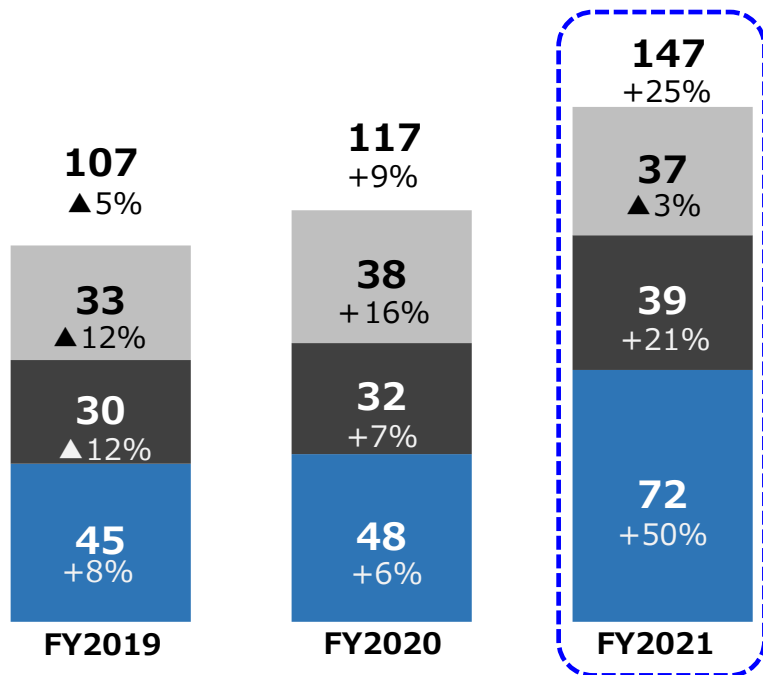
%表記は前年同期比増減率

億円

その他

油圧

TMP



産業機器製品

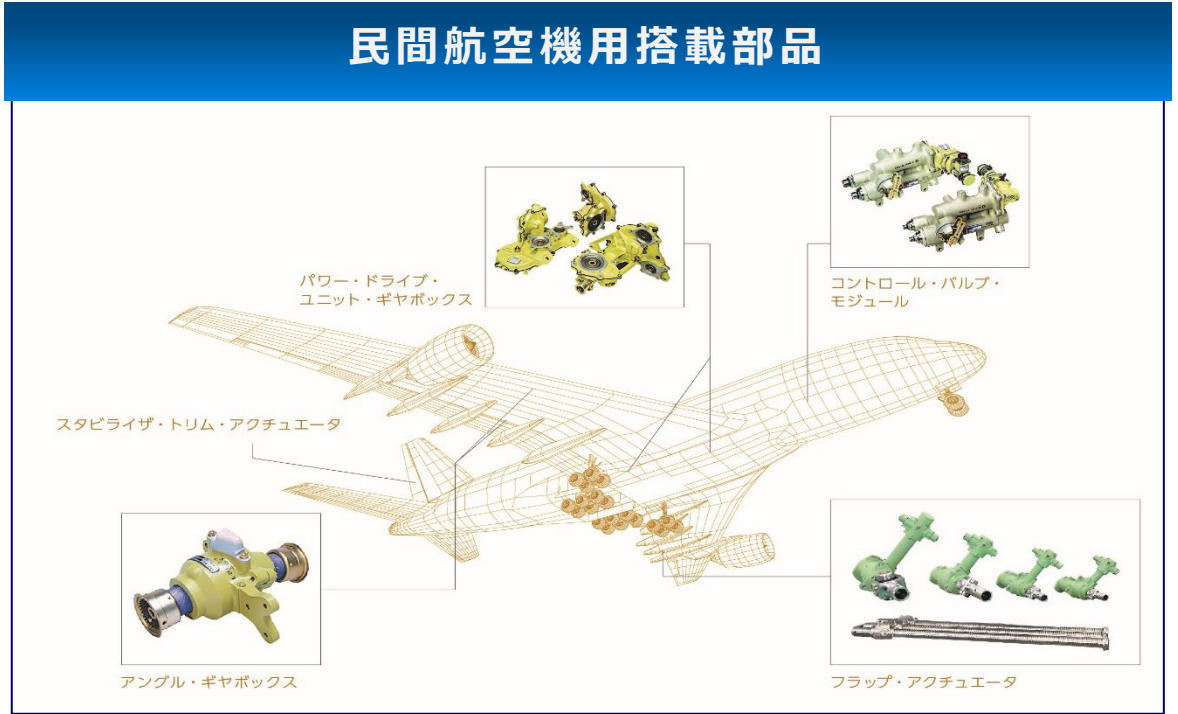
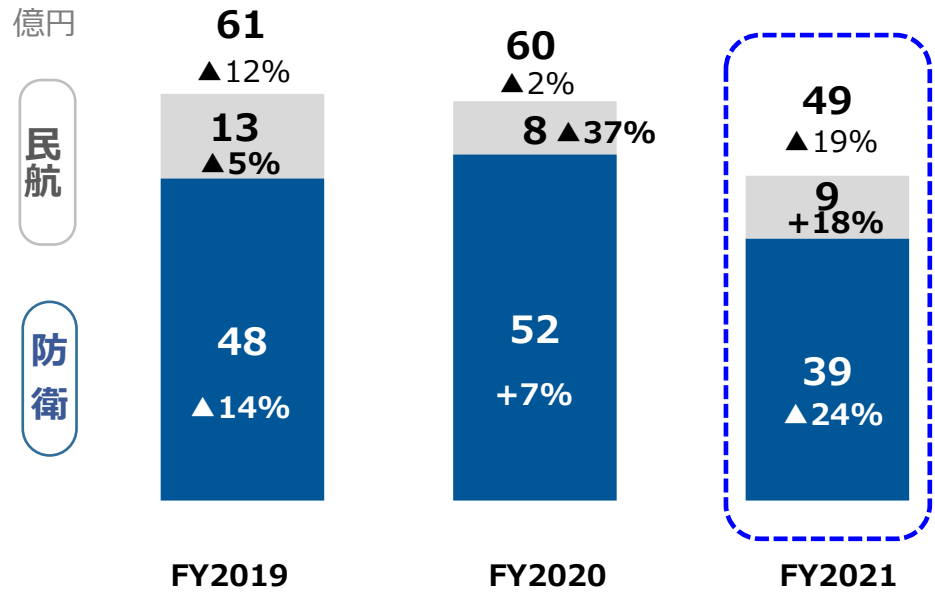
その他			
	工業炉	ガラスワインダー	バランサー
TMP			
	電源一体型	電源別置き型	
油圧機器			
	ギアポンプ	コントロールバルブ	

航空機器/分野別売上高

防衛 : 39億円 (前年同期比 ▲13億円、▲24%) 需要の谷間のため減収
 民航 : 9億円 (前年同期比 +1億円、+18%) 小型機向けエンジン部品が増加し、7四半期ぶりに反転

航空機器 第3四半期売上高

%表記は前年同期比増減率



1. FY2021 3Q決算 概要

2. FY2021 3Q決算 セグメント別業績

3. 通期業績予想

通期業績予想

- ・第4四半期になりPCR関連需要が急増、生産に苦慮する事態に
- ・一方、部品不足や物流の混乱が拡大傾向であることに加え、新型コロナウイルス感染拡大により、生産停止・遅延、製品据付延期、顧客訪問中止等の影響が出始めており、事業環境は極めて不透明に

市況：計測は医薬を中心に、産業は半導体を中心に好況。PCR関連の需要は急増
 想定為替レート：前回予想より、米ドルは4円円安の112円、ユーロは4円円安の130円に修正

単位：億円	通期			前回予想比		前期比		
	FY2021 新予想	FY2021 前回予想	FY2020	増減額	増減率	増減額	増減率	
売上高	4,250	4,200	3,935	+50	+1%	+315	+8%	
営業利益	610	590	497	+20	+3%	+113	+23%	
営業利益率	14.4%	14.0%	12.6%	+0.3pt		+1.7pt		
経常利益	620	600	484	+20	+3%	+136	+28%	
親会社株主に帰属する当期純利益	440	430	361	+10	+2%	+79	+22%	
為替	平均レート：米ドル（円）	112.00	108.00	106.11	+4.00	+4%	+5.89	+6%
	ユーロ（円）	130.00	126.00	123.75	+4.00	+3%	+6.25	+5%
主要投資	研究開発費	175	175	157	+0		+18	
	設備投資額	160	170	145	▲10		+15	
	減価償却費	165	165	155	+0		+10	

為替影響

売上高：83億円
 営業利益：28億円

為替感応度

	売上高	営業利益
米ドル	12億円	4億円
ユーロ	2億円	0.7億円

配当金

中間配当20円
 期末配当予想21円（変更なし）
 年間配当予想41円（変更なし）

通期セグメント別業績予想

単位: 億円	売上高						営業利益						営業利益率			
	FY2021 新予想	FY2021 前回予想	FY2020	前回予想比	前期比		FY2021 新予想	FY2021 前回予想	FY2020	前回予想比	前期比		FY2021 新予想	FY2021 前回予想	FY2020	前期比
				増減額	増減額	増減率				増減額	増減額	増減率				増減
計測機器	2,750	2,710	2,486	+40	+265	+11%	515	500	418	+15	+97	+23%	18.7%	18.5%	16.8%	+1.9pt
医用機器	675	675	669	+0	+6	+1%	55	50	50	+5	+5	+10%	8.1%	7.4%	7.5%	+0.7pt
産業機器	560	535	451	+25	+109	+24%	60	55	34	+6	+26	+79%	10.7%	10.2%	7.4%	+3.3pt
航空機器	220	230	286	▲10	▲66	▲23%	1	3	9	▲2	▲8	▲89%	0.5%	1.3%	3.1%	▲2.6pt
その他	45	50	44	▲5	+1	+2%	6	8	10	▲2	▲4	▲39%	9.5%	11.8%	16.2%	▲6.7pt
調整額	—						▲27	▲26	▲23	▲1	▲4	—	—			
合計	4,250	4,200	3,935	+50	+315	+8%	610	590	497	+20	+113	+23%	14.4%	14.0%	12.6%	+1.7pt

セグメント毎の業績をより適切に管理するため、当第1四半期から管理部門費をより合理的な配賦方法に変更している。前年比較については前年の数値を新配賦方法に基づき組み替えている。

補足資料

損益計算書 (4-12月)

単位：億円		3Q(4月-12月)		前年比	
		FY2021	FY2020	増減額	増減率
業績	売上高	3,059	2,761	+298	+11%
	営業利益	455	327	+127	+39%
	営業利益率	14.9%	11.9%	+3.0pt	—
	経常利益	466	325	+141	+44%
	親会社株主に帰属する当期純利益	339	236	+103	+43%
為替	平均為替レート：米ドル (円)	111.16	106.20	+4.96	+5%
	ユーロ (円)	130.66	122.40	+8.26	+7%
主要投資	研究開発費	116	108	+8	
	設備投資額	101	105	▲ 4	
	減価償却費	121	115	+6	

為替影響

売上高 : +87億円
営業利益 : +21億円

為替感応度

	売上高	営業利益
USD	12億円	4億円
EUR	2億円	0.7億円

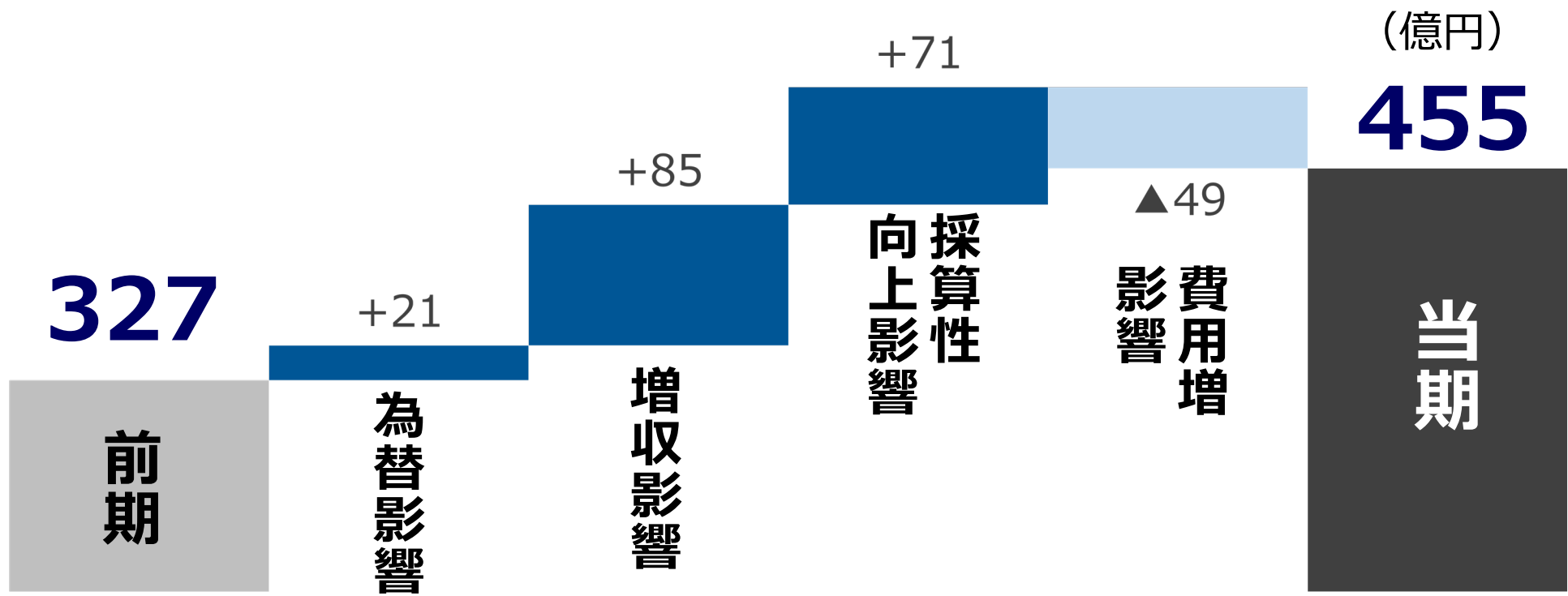
セグメント別損益（4-12月）

単位: 億円	売上				営業利益				営業利益率		
	FY2021	FY2020	前年同期比		FY2021	FY2020	前年同期比		FY2020	FY2019	前年同期比 増減
			差額	増減率			差額	増減率			
計測	1,989	1,726	+263	+15%	378	279	+99	+35%	19.0%	16.2%	+2.8pt
医用	469	464	+5	+1%	41	24	+17	+71%	8.8%	5.2%	+3.6pt
産業	415	323	+92	+29%	45	23	+22	+94%	10.7%	7.2%	+3.5pt
航空	151	220	▲69	▲31%	▲1	10	▲11	—	▲0.5%	4.4%	▲4.9pt
その他	36	29	+7	+25%	8	6	+2	+38%	15.0%	13.3%	+1.7pt
調整額	—				▲16	▲15	▲2	—	—		
合計	3,059	2,761	+298	+11%	455	327	+127	+39%	14.9%	11.9%	+3.0pt

セグメント毎の業績をより適切に管理するため、当第1四半期から管理部門費をより合理的な配賦方法に変更している。前年比較については前年の数値を新配賦方法に基づき組み替えている。

営業利益増減要因(4-12月)

為替影響	: +21億円 (前年同期比で、米ドルが5%円安、ユーロは7%円安)
増収影響	: +85億円
採算性向上	: +71億円 (プロダクトミックス・セグメントミックスの改善、アフターマーケットの拡大)
費用増	: ▲49億円 (人件費・売上関係費等の増加)



計測機器/重点機種前同比

	FY2019					FY2020					FY2021		
	1Q	2Q	3Q	4Q	FY	1Q	2Q	3Q	4Q	FY	1Q	2Q	3Q
重点機種	+5%	+7%	+5%	▲10%	▲1%	▲5%	+2%	+11%	+22%	+8%	+20%	+7%	+4%
全体	▲4%	+10%	+4%	▲11%	+1%	▲7%	▲4%	+10%	+19%	+5%	+25%	+9%	+4%

* FY2020は為替と収益認識基準の影響を除外して比較
FY2021は為替影響を除外

*重点機種：液体クロマトグラフ（L C）、質量分析計（M S）、ガスクロマトグラフ（G C）

計測機器/地域別売上高前同比

国	FY2019					FY2020					FY2021		
	1Q	2Q	3Q	4Q	FY	1Q	2Q	3Q	4Q	FY	1Q	2Q	3Q
日本	▲12%	+21%	+0%	▲5%	+1%	▲11%	▲15%	+15%	+11%	+1%	+26%	+12%	+4%
北米	+4%	▲5%	+16%	+4%	+5%	▲4%	+13%	▲8%	+5%	+1%	+31%	+7%	▲7%
欧州	+1%	+19%	+2%	▲2%	+5%	▲5%	▲5%	+5%	+11%	+2%	+15%	+11%	+4%
中国	▲8%	▲4%	+4%	▲40%	▲12%	+12%	+14%	+18%	+74%	+25%	+22%	+5%	▲0%
その他アジア	+19%	+11%	+8%	▲10%	+6%	▲25%	▲9%	+5%	+25%	▲2%	+22%	+6%	+10%
インド	+11%	▲3%	+27%	▲5%	+7%	▲35%	▲4%	+4%	+22%	▲3%	+2%	▲0%	▲3%

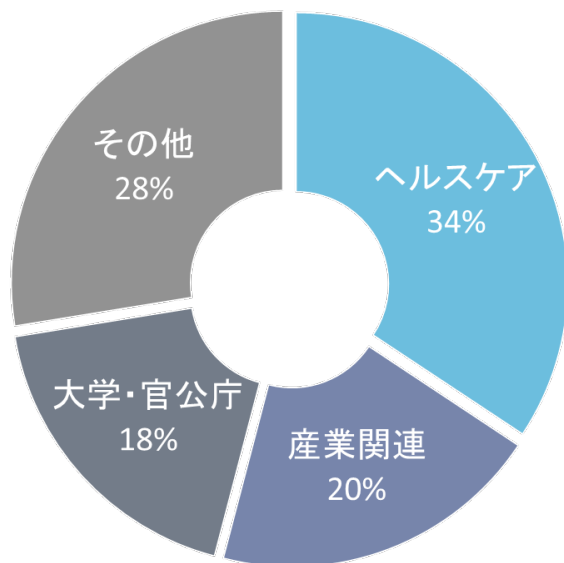
* インドはその他アジアの内数

* FY2020は為替と収益認識基準の影響を除外して比較
FY2021は為替影響を除外

計測機器／市場別売上高比率(10-12月)

- ・ヘルスケア : 医薬市場向けにLC、MSが増加。一方、新型コロナウイルス検出試薬キットの需要が減少
- ・産業関連 : グローバルで回復傾向。新素材・エネルギー市場で設備投資増加
- ・大学・官公庁 : 各国政府の予算執行が進み、LC・MS・試験機が増加

市場別売上構成比



市場と主な業界	構成比		売上高 前同比	概況
	FY2021	FY2020		
ヘルスケア ・医薬品・食品 ・医療機関 ・受託分析業	34%	34%	+8%	<ul style="list-style-type: none"> ・ 医薬市場では、前年中国の薬典改定需要の反動があるものの、新薬開発や自国生産回帰により投資が拡大し大幅に増加 ・ PCR関連事業は減少
産業関連 ・化学・素材 ・電機 ・自動車	20%	19%	+12%	<ul style="list-style-type: none"> ・ グローバルで回復傾向 ・ 新素材や新エネルギーを含めた設備投資が増加
大学・官公庁	18%	18%	+7%	<ul style="list-style-type: none"> ・ 大学は中国で免税リスト公布遅延により減少したものの、欧米では回復。 ・ 官公庁は、各国政府の予算執行が進み、グローバルで増加

医用機器/地域別売上高前同比

国	FY2019					FY2020					FY2021		
	1Q	2Q	3Q	4Q	FY	1Q	2Q	3Q	4Q	FY	1Q	2Q	3Q
日本	+6%	+30%	▲2%	▲5%	+7%	▲15%	▲33%	▲1%	+7%	▲12%	+24%	+8%	▲10%
北米	▲24%	▲17%	+5%	+7%	▲9%	+14%	+29%	+26%	+1%	+16%	+2%	▲19%	+2%
欧州	▲26%	▲6%	+2%	▲8%	▲9%	+19%	+30%	+51%	▲3%	+27%	▲21%	▲42%	▲36%
中国	▲33%	+5%	▲26%	+13%	▲8%	+34%	▲33%	+29%	▲25%	▲7%	▲27%	▲1%	▲18%
その他アジア	▲8%	+3%	▲16%	+34%	▲0%	▲9%	+17%	▲4%	+20%	+6%	+15%	+5%	+18%

* FY2020は為替と収益認識基準の影響を除外して比較
FY2021は為替影響を除外

医用機器/地域別売上高(10-12月)

- ・日本 : ▲10% 補正予算需要の取り込みや、アフターマーケット事業が拡大するものの、前年大口案件の反動により減少
- ・海外 : ▲1% 回診用X線撮影装置が減少
- ・海外売上高比率 : 50.5% (前同比 +2.5pt)

	FY2021	FY2020	増減額	増減率	概況
日本	73	82	▲9	▲10%	<ul style="list-style-type: none"> ・前年の大口案件の反動 ・X線TVシステムが補正予算需要を取り込み増加。アフターマーケットも業績に貢献
海外	75	76	▲1	▲1%	<ul style="list-style-type: none"> ・前年コロナ禍で増加した回診用X線撮影装置の反動
北米	21	19	+2	+11%	<ul style="list-style-type: none"> ・X線TVシステムの新製品が好調に推移
欧州	12	18	▲6	▲33%	<ul style="list-style-type: none"> ・前年コロナ禍で増加した回診用X線撮影装置の反動
中国	12	13	▲1	▲11%	<ul style="list-style-type: none"> ・中国製品との競争激化に加え、入札が遅延するなど設備投資が停滞
その他 アジア	17	13	+3	+26%	<ul style="list-style-type: none"> ・血管撮影システムの大口案件により、東南アジアが好調

産業機器/機種別売上高前同比

	FY2019					FY2020					FY2021		
	1Q	2Q	3Q	4Q	FY	1Q	2Q	3Q	4Q	FY	1Q	2Q	3Q
TMP	▲25%	▲26%	+10%	+48%	▲1%	+46%	+36%	+7%	+9%	+21%	+13%	+35%	+44%
油圧	+2%	+1%	▲12%	▲5%	▲4%	▲19%	▲17%	+7%	+6%	▲6%	+34%	+34%	+18%
その他	▲37%	+19%	▲11%	▲1%	▲8%	▲7%	▲20%	+14%	▲16%	▲8%	+32%	+30%	▲6%

* FY2020は為替と収益認識基準の影響を除外して比較
FY2021は為替影響を除外

アフターマーケット(AM)比率

計測

	FY2019					FY2020					FY2021		
	1Q	2Q	3Q	4Q	FY	1Q	2Q	3Q	4Q	FY	1Q	2Q	3Q
AM売上前同比	+3%	+6%	+10%	▲2%	+4%	+1%	+4%	+22%	+16%	+10%	+33%	+16%	+4%
AM比率	34%	30%	33%	32%	32%	37%	33%	33%	33%	34%	38%	35%	35%

医用

	FY2019					FY2020					FY2021		
	1Q	2Q	3Q	4Q	FY	1Q	2Q	3Q	4Q	FY	1Q	2Q	3Q
AM売上前同比	+5%	+13%	▲3%	+2%	+4%	+1%	▲8%	+14%	+5%	+3%	+14%	+9%	+2%
AM比率	35%	28%	31%	30%	30%	37%	32%	32%	31%	33%	38%	35%	39%

TMP

	FY2019					FY2020					FY2021		
	1Q	2Q	3Q	4Q	FY	1Q	2Q	3Q	4Q	FY	1Q	2Q	3Q
AM売上前同比	+13%	+9%	▲1%	+12%	+8%	+12%	+3%	+11%	+6%	+8%	+18%	+11%	+15%
AM比率	22%	27%	18%	18%	21%	17%	21%	19%	18%	19%	17%	17%	15%

* FY2020は為替と収益認識基準の影響を除外して比較
FY2021は為替影響を除外